

復活後第4主日特祷

永遠の契約の血によって良い羊飼い、主イエス・キリストを死人のうちからよみがえらせられた平和の神よ、どうか、わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前に喜ばれるすべての良い業を行わせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

旧約聖書 ネヘミヤ記 9章6-15節

6 あなたのみが主。天とその高き極みを、そのすべての軍勢を、地とその上にあるすべてのものを、海とその中にあるすべてのものを、あなたは創造された。あなたは万物に命をお与えになる方。天の軍勢はあなたを伏し拝む。7 あなたこそ、主なる神。アブラムを選んでカルデアのウルから導き出し、名をアブラハムとされた。8 あなたに対して忠実なその心を認め、彼と契約を結び、子孫に土地を与えると約束された。カナン人、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、エブス人、ギルガシ人の土地を。あなたは約束を果たされた。まことにあなたは正しい方。9 わたしたちの先祖がエジプトで苦しんでいるのを見、葦の海で叫び声をあげるのを聞き 10 ファラオとその家来、その国民すべてに対して、あなたは数々の不思議と奇跡を行われた。彼らがわたしたちの先祖に対して、傲慢にふるまったことを、まことにあなたは知っておられた。こうしてかちえられたあなたの名声は、今日も衰えることを知らない。11 あなたは先祖の目の前で海を二つに裂き、海の中の乾いた地を通らせ、追い迫る敵をあたかも石のように、荒れ狂う水の深みに投げ込まれた。12 昼は雲の柱、夜は火の柱をもって、わたしたちの先祖を導き、その進み行く道を照らされた。13 あなたは天からシナイの山に降って彼らと語り、正しい法、真実の律法、優れた掟と戒めを授け、14 あなたの聖なる安息日を布告し、僕モーセによって、戒めと掟と律法を授けられた。15 彼らが飢えれば、天からパンを恵み、渴けば、岩から水を湧き出させ、必ず与えると誓われた土地に行って、それを所有せよと命じられた。

詩 編 第23編

- 1 主はわたしの牧者 // わたしは乏しいことがない
- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ // 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ // み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れない // あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
- 5 あなたは敵のしている前でわたしのために食卓を整え // わたしの頭に油を注ぎ、わ

たしの杯を満たされる

6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い// わたしは永遠に主の家に住む

使徒書 使徒言行録 6章1-9, 7章2a, 51-60節

1 そのころ、弟子の数が増えてきて、ギリシア語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対して苦情が出た。それは、日々の分配のことで、仲間のやもめたちが軽んじられていたからである。2そこで、十二人は弟子をすべて呼び集めて言った。「わたしたちが、神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは好ましくない。3それで、兄弟たち、あなたがたの中から、“霊”と知恵に満ちた評判の良い人を七人選びなさい。彼らにその仕事を任せよう。4わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することにします。」5一同はこの提案に賛成し、信仰と聖霊に満ちている人ステファノと、ほかにフィリポ、プロコロ、ニカノル、ティモン、パルメナ、アンティオキア出身の改宗者ニコラオを選んで、6使徒たちの前に立たせた。使徒たちは、祈って彼らの上に手を置いた。

7 こうして、神の言葉はますます広まり、弟子の数はエルサレムで非常に増えていき、祭司も大勢この信仰に入った。

8 さて、ステファノは恵みと力に満ち、すばらしい不思議な業とするしを民衆の間で行っていた。9ところが、キレネとアレクサンドリアの出身者で、いわゆる「解放された奴隷の会堂」に属する人々、またキリキア州とアジア州出身の人々などのある者たちが立ち上がり、ステファノと議論した。

そこで、ステファノは言った。かたくなで、心と耳に割礼を受けていない人たち、あなたがたは、いつも聖霊に逆らっています。あなたがたの先祖が逆らったように、あなたがたもそうしているのです。52 いったい、あなたがたの先祖が迫害しなかった預言者が、一人でもいたでしょうか。彼らは、正しい方が来られることを預言した人々を殺しました。そして今や、あなたがたがその方を裏切る者、殺す者となった。53 天使たちを通して律法を受けた者なのに、それを守りませんでした。」

54 人々はこれを聞いて激しく怒り、ステファノに向かって歯ぎしりした。55 ステファノは聖霊に満たされ、天を見つめ、神の栄光と神の右に立っておられるイエスとを見て、56 「天が開いて、人の子が神の右に立っておられるのが見える」と言った。57 人々は大声で叫びながら耳を手でふさぎ、ステファノ目がけて一斉に襲いかかり、58 都の外に引きずり出して石を投げ始めた。証人たちは、自分の着ている物をサウロという若者の足もとに置いた。59 人々が石を投げつけている間、ステファノは主に呼びかけて、「主イエスよ、わたしの霊をお受けください」と言った。60 それから、ひざまずいて、「主よ、この罪を彼らに負わせないでください」と大声で叫んだ。ステファノはこう言って、眠りに

ついた。

福音書 ヨハネによる福音書 10章 1-10節

1 「はっきり言っておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。 2 門から入る者が羊飼いである。 3 門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。 4 自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っている所以、ついて行く。 5 しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。」 6 イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

7 イエスはまた言われた。「はっきり言っておく。わたしは羊の門である。 8 わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。 9 わたしは門である。わたしを通って入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。 10 盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。